

肝炎等克服緊急対策研究事業の成果

①肝炎治療の現状と治療薬開発の方向性に関するテーマ

- 肝硬変を含めたウイルス性肝疾患の治療の標準化に関する研究 (H19-21)
 - B型及びC型慢性肝炎の詳細なガイドライン作成
- テーラーメイド治療を目指した肝炎ウイルスデータベース構築 (H19-21)
 - 肝炎ウイルス統合データベースの構築

②肝硬変治療の現状と治療薬開発の方向性に関するテーマ

- 肝硬変を含めたウイルス性肝疾患の治療の標準化に関する研究 (H19-21)
 - ウイルス性肝硬変に対する包括的治療のガイドライン作成
- インターフェロンの抗肝線維化分子機構の解明とその応用 (H20-22)
 - マウス星細胞の活性化時に変動するmicro RNA量が前置の抽出

③肝がん治療の現状と治療薬開発の方向性に関連するテーマ

- 肝癌早期発見を目的とした分子マーカー及び画像診断システムの開発 (H20-22)
 - 肝癌の悪性度及び早期肝癌の新しい分子マーカー候補の検出
- 癌胎児性抗原を利用した肝癌の超早期診断法と発症予防ワクチンの開発 (H20-22)
 - G P C 3 (グリピカン3) ペプチドワクチンの臨床第 I 相試験の追加

④新しいウイルス性肝炎治療薬の開発に向けた基礎研究の方向性に関するテーマ

- ヒト肝細胞キメラマウスを用いた治療抵抗性の肝炎に関する研究 (H20-22)
 - 治療抵抗性のC型肝炎モデル及び薬剤抵抗性のB型肝炎モデルの作成
- ジェノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規診断・治療法の開発 (H19-22)
 - H B V感染キメラマウス肝組織を用い、線維化にかかわるウイルス責任領域の解析

⑤肝炎等疫学研究に関連するテーマ

- 肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究 (H19-21)
 - 「肝炎ウイルス検診」受診者、初回献血者の大規模集団における実態把握
- 肝がん患者のQOL向上に関する研究 (H18-20)
 - 治療法別のQOLの把握

- ①肝炎治療の現状と治療薬開発の方向性に関するテーマ
- ②肝硬変治療の現状と治療薬開発の方向性に関するテーマ
- ③肝がん治療の現状と治療薬開発の方向性に関するテーマ
- ④新しいウイルス肝炎治療薬の開発に向けた基礎研究の方向性に関するテーマ
- ⑤肝炎等疫学研究に関するテーマ

平成21年度新規採択課題

No.	研究代表者	所属施設	職名	研究課題
①	田中 榮司	国立大学法人信州大学医学部	教授	B型肝炎の核酸アナログ薬治療における治療中止基準の作成と治療中止を目指したインターフェロン治療の有用性に関する研究
	持田 智	埼玉医科大学医学部消化器内科・肝臓内科	教授	免疫抑制薬、抗悪性腫瘍薬によるB型肝炎ウイルス再活性化の実態解明と対策法の確立
	鈴木 文孝	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 肝臓センター	医長	C型肝炎における新規治療法に関する研究
	竹原 徹郎	国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科	准教授	C型肝炎難治症例の病態解明と抗ウイルス治療に関する研究
	西口 修平	兵庫医科大学医学部	教授	血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎および臨床的研究
②	坂井 田功	国立大学法人山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学講座	教授	骨髄および脂肪由来細胞を用いた次世代型肝臓再生・修復（抗線維化）療法の開発研究
③	本多 政夫	国立大学法人金沢大学医薬保健研究域保健学系	教授	肝がんの新規治療法に関する研究
	堀 田 博	国立大学法人神戸大学大学院医学研究科	教授	肝炎ウイルスによる発がん機構の解明に関する研究
④	澤本 和延	公立大学法人名古屋国立大学大学院医学研究科	教授	慢性C型肝炎のインターフェロン療法における幹細胞機能の変化とうつ病発症に関する基礎・臨床連携研究
	池田 一雄	公立大学法人名古屋国立大学大学院医学研究科	教授	日本人の細胞に由来するiPS細胞からの誘導ヒト肝細胞を用いたキメラマウス肝炎モデル開発とその前臨床応用
	小池 和彦	国立大学法人東京大学医学部附属病院	教授	肝炎ウイルスと代謝・免疫系の相互作用に関する包括的研究
⑤	溝上 雅史	国立国際医療センター国府台病院肝炎・免疫研究センター	研究センター長	B型肝炎のジェノタイプA型感染の慢性化など本邦における実態とその予防に関する研究
	矢野 公士	国立国際医療センター国府台病院肝炎・免疫研究センター	研修推進室医長	経口感染する肝炎ウイルス（A型、E型）の感染防止、遺伝的多様性、および治療に関する研究
	正木 尚彦	国立国際医療センター国府台病院肝炎・免疫研究センター	肝炎情報センター長	肝炎に関する全国規模のデータベース構築に関する研究
	森島 恒雄	国立大学法人岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	B型肝炎の母子感染および水平感染の把握とワクチン戦略の再構築に関する研究
	阿部 康弘	独立行政法人医薬基盤研究所基盤的研究部	プロジェクト研究員	膜蛋白質発現系を利用したC型肝炎ウイルス感染受容体の生化学的・疫学的解析及び感染阻害剤の開発

平成20年度新規採択課題

①	佐田 通夫	久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門	教授	肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究
	泉 並木	武蔵野赤十字病院消化器科	部長	データマイニング手法を用いた効果的なC型肝炎治療法に関する研究
	八橋 弘	独立行政法人公立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター	治療研究部長	データマイニング手法を用いた効果的な治療方法に関する研究
	岡上 武	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田病院内科	院長	非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明と診断法、治療法の開発に関する研究
	磯田 勝広	国立大学法人 大阪大学大学院薬学研究科	助教	Claudin-1を標的としたC型肝炎ウイルス感染阻害法の開発とその臨床応用に向けた疫学調査
②	楠本 茂	公立大学法人名古屋国立大学大学院医学研究科腫瘍・免疫内科学	助教	リツキシマブ＋ステロイド併用悪性リンパ腫治療中のB型肝炎ウイルス再活性化への対策に関する研究
	河田 則文	大阪市立大学大学院医学研究科 肝臓病態内科学	教授	インターフェロンの抗肝線維化分子機構の解明とその応用
	鈴木 一幸	岩手医科大学医学部第一内科	教授	肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究
③	有井 茂樹	国立大学法人東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科	教授	肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発
	中面 哲也	国立がんセンター東病院 臨床開発センターがん治療開発部	機能再生室長	癌胎児性抗原を利用した肝がんの超早期診断法と発症予防ワクチンの開発
④	茶山 一彰	広島大学病院 消化器内科	教授	ヒト肝細胞キメラマウスを用いた治療抵抗性の肝炎に関する研究
	石井 孝司	国立感染症研究所ウイルス第二部	主任研究官	肝炎ウイルスワクチン実用化のための基礎的研究
	鈴木 哲朗	国立感染症研究所ウイルス第二部	室長	C型肝炎ウイルスキャリア成立の分子基盤と新規治療薬開発のための基礎的研究
	北島 智子	国立感染症研究所	企画調整主幹	肝炎等の早期克服のための総合的推進に関する総括研究
⑤	井出 博生	東京大学医学部附属病院	助教	肝炎の予防および治療対策に関する費用対効果分析

平成19年度新規採択課題

No.	研究代表者	所 属 施 設	職名	研 究 課 題
①	下 遠 野 邦 志	慶応義塾大学医学部	教授	肝炎ウイルスにより惹起される炎症性誘発要因及びウイルス増殖に対する人為的制御による肝炎征圧
	榎 本 信 幸	山梨大学大学院医学工学総合研究部	教授	薬剤耐性肝炎ウイルス感染の病態解明と対策に関する研究
	村 上 善 基	京都大学医学研究科	産学官連携准教授	non-codingRNAを用いた新たな慢性C型肝炎制御による治療法開発
	林 紀 夫	大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学	教授	B型及びC型肝炎ウイルスの感染による肝がん発症の病態解明とその予防・治療法の開発に関する研究
	金 子 周 一	金沢大学大学院医学系研究科	教授	ジエノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規診断・治療法の開発
	熊 田 博 光	虎の門病院分院肝臓センター	院長	肝硬変を含めたウイルス性肝疾患の治療の標準化に関する研究
③	溝 上 雅 史	公立大学法人名古屋国立大学大学院研究科	教授	テーラーメイド治療を目指した肝炎ウイルスデータベース構築に関する研究
	小 俣 政 男	東京大学医学部附属病院(消化器内科)	教授	ウイルス肝炎による肝がんの再発防止メカニズムの解明に関する研究
④	山 口 一 成	国立感染症研究所血液・安全性研究部	部長	ウイルス肝炎感染防止体制の確立に関する総合研究
	脇 田 隆 宇	国立感染症研究所ウイルス第二部	部長	肝炎ウイルスの培養系を用いた新規肝炎治療法の開発
	水 澤 利 明	国立感染症研究所血液・安全性研究部	室長	肝炎ウイルス感染防御を目指したワクチン接種の基礎構築
	松 浦 善 治	大阪大学微生物病研究所	教授	HCV感染における宿主応答の分子機構の解析と新規創薬標的の探索
⑤	田 中 純 子	広島大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・疾病制御学	准教授	肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究

平成18年度新規採択課題

③	藤 原 研 司	独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院	院長	肝がん患者のQOL向上に関する研究
④	小 池 和 彦	東京大学医学部附属病院	教授	肝炎ウイルス感染の肝外病変の基礎的及び臨床的包括研究
	矢 野 公 士	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	室長	E型肝炎の感染経路・宿主域・遺伝的多様性・感染防止・診断・治療に関する研究
⑤	秋 葉 隆	東京女子医科大学血液浄化療法科	教授	透析施設におけるC型肝炎院内感染の状況・予防に関する研究
	井 上 真 奈 美	国立がんセンターがん予防・検診研究センター	室長	C型肝炎の状況・長期予後の疫学像の解明に関する研究

平成17年度新規採択課題

①	大 戸 齊	福島県立医科大学医学部	教授	C型肝炎ウイルスの母子感染防止に関する研究
②	八 橋 弘	国立病院機構長崎医療センター臨床研修センター治療研究部	部長	肝硬変に対する治療に関する研究
③	西 村 泰 治	熊本大学大学院医学薬学研究部	教授	新規癌胎児性抗原を利用した肝細胞癌の診断と治療
④	茶 山 一 彰	広島大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	C型肝炎新規治療開発に資するプロテオーム解析を用いた治療標的分子の網羅的検索系とヒト肝細胞キメラマウスHCV感染モデルを用いた実証系の開発に関する研究
	宮 村 達 男	国立感染症研究所ウイルス第二部	部長	C型肝炎の治療とキャリアからの発症予防に関する基礎研究
	脇 田 隆 宇	東京都医学研究機構東京都神経科学総合研究所	副理事研究員	培養細胞で感染複製および粒子形成が可能なC型肝炎ウイルス株を利用したワクチン開発
	三 宅 智	国立感染症研究所	企画調整主幹	肝炎等の早期克服のための総合的推進に関する総括研究
⑤	青 柳 豊	新潟大学教育研究院医歯学系	教授	L3分画および流血中癌細胞テロメラーゼを指標とした肝細胞癌のサーベイランスの有用性

平成16年度新規採択課題

①	河 田 純 男	山形大学医学部	教授	B型及びC型肝炎ウイルスの新たな感染予防法の確立のための感染病態解明に関する研究
	林 紀 夫	大阪大学大学院医学系研究科	教授	B型及びC型肝炎ウイルス感染者における新たな発がん予防法の確立のための肝がん発生等の病態解明に関する研究
	吉 澤 浩 司	広島大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	B型及びC型肝炎の疫学及び検診を含む肝炎対策に関する研究
	熊 田 博 光	虎の門病院	副院長	B型及びC型肝炎ウイルスの感染者に対する治療の標準化に関する臨床的研究
	門 田 守 人	大阪大学大学院・医学系研究科病態制御外科	教授	C型肝炎への肝移植後の免疫抑制法に関する研究
	高 田 泰 次	京都大学医学部附属病院移植外科	助教授	生体肝移植後のC型肝炎再発予防を目指したステロイド剤不使用による免疫抑制療法に関する研究
③	沖 田 輝	山口大学医学部	教授	病期別にみた肝がん治療法の費用効果およびQOLの観点からみた有効性に関する研究
	小 俣 政 男	東京大学大学院医学系研究科	教授	予後改善を目指した肝臓がん再発に影響を与える因子に関する研究
⑤	佐 藤 田 鶴 子	日本歯科大学歯学部	教授	歯科診療におけるB型及びC型肝炎感染防止体制の確立に関する研究

平成15年度新規採択課題

①	三 代 俊 治	東芝病院研究部	部長	本邦に於けるE型肝炎の診断・予防・疫学に関する研究
---	---------	---------	----	---------------------------

平成14年度新規採択課題

①	八 橋 弘	国立病院機構長崎医療センター臨床研修センター	部長	肝炎ウイルス等の標準的治療困難例に対する治療法の確立に関する研究
	菊 地 秀	国立郡山病院	院長	輸血後肝炎に関する研究
	山 崎 親 雄	社団法人日本透析医会	会長	血液透析施設におけるC型肝炎感染事故(含:透析事故)防止体制の確立に関する研究
	古 屋 英 毅	日本歯科大学歯学部	教授	歯科診療におけるC型肝炎の感染リスク低減に関する研究
	白 木 和 夫	鳥取大学医学部小児科学	名誉教授	C型肝炎ウイルス等の母子感染防止に関する研究
②	石 井 裕 正	慶應義塾大学医学部消化器内科学	教授	末期肝硬変に対する治療に関する研究
	門 田 守 人	大阪大学大学院・医学系研究科病態制御外科	教授	進行肝がんに対する集学的治療に関する研究
③	藤 原 研 司	埼玉医科大学医学部	教授	肝がん患者のQOL向上に関する研究
	奥 村 二 郎	国立感染症研究所	企画調整主幹	肝炎等の早期克服のための研究の総合的推進に関する総括研究
	加 藤 宣 之	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	肝炎ウイルスによる宿主細胞がん化メカニズムの解明に関する研究
	油 谷 浩 幸	東京大学国際・産学共同研究センター	教授	新規肝がん関連遺伝子の網羅的探索とDNAチップを用いた遺伝子の相互関連性に関する研究
④	小 池 和 彦	東京大学医学部感染症内科	助教授	トランスジェニック・マウスを用いた肝がんメカニズムの解析
	松 浦 善 治	大阪大学微生物病研究所エマージング感染症研究センター	教授	慢性C型肝炎に対する治療用ヒト型抗体の開発に関する研究
⑤	川 本 俊 弘	産業医科大学医学部衛生学講座	教授	職場における慢性肝炎の増悪要因(化学物質暴露等)及び健康管理に関する研究